



2月15日に「みどりうむアクション」や緑化協会の助成を受けて、「里山林の手入れとシイタケ植菌」実施しました。参加者は、6家族20名とスタッフ20名でした。参加者全員で集合写真を撮った後、まず、蒸しパン作りの下準備をしました。次に、ヘルメットや剪定バサミ、のこぎりなどを身につけて現地へ移動しました。スタッフの説明や諸注意を聞いてから、作業に取り掛かりました。幼児やその保護者は剪定バサミで根笹などの下草を刈りました。子どもたちは保護者と一緒に熱心に草を刈っていました。その他の人は、事前に枯れ松をチェーンソーで伐採していたので、その枝を適当な長さに切断する作業をしました。これは、薪にしたり、階段を作る時の材料にしたり、土手の補修に使ったりと使い道は様々です。作業後は、「温かくて美味しい。もっと食べたい。」と言いながらスタッフが蒸しあげた蒸しパンを頂きました。昼休みには、ねぎを収穫したり、落ち葉の山で遊んだりして過ごしました。午後は、いよいよ椎茸の植菌作業です。電動ドリルで穴をあけた原木に、シイタケの駒菌を一つ一つ金づちで打ち込みました。初めての作業に、「おもしろい。楽しい。」という声が聞こえてきました。終了近くになって小雨が降ってきましたが、最後まで無事にプログラムを終えることができました。(スタッフの参加20名)



集合写真



蒸しパンの下準備



作業の手順を聞きます



熱心に下草刈り



ハサミでチョッキン



枝を切るのは大変



落ち葉のシャワー



落ち葉のお風呂



1本ねぎの収穫



菌を穴の中へ入れます



金づちで打ち込み



作業に集中